

基本計画22 上下水道の整備

現状と課題

本市の上下水道事業は、公衆衛生の向上と生活環境の改善、公共用水域の水質保全を図るとともに、社会活動を支えることを目的に整備され、現在水道普及率は97.9%、下水道普及率（公共下水道、集落排水、合併浄化槽含む）は、93.3%となっていますが、今後人口減少に伴う料金収入の減少や、老朽に伴う施設の更新、施設や管路耐震化のための費用の増大など、事業の経営環境はより厳しさを増す状況にあります。

市民生活を支える重要なライフラインである上下水道事業は、今後の社会情勢の変化に適切に対応し、経済性の発揮に努めながら、安定したサービスを持続することが必要です。

■上水道の給水状況の推移

区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
給水人口(人)	46,974	46,598	46,266	45,866	45,538
給水戸数(戸)	19,124	19,197	19,251	19,356	19,429
年間総配水量(m ³)	5,528,748	5,483,243	5,455,694	5,469,792	5,520,188
一日平均配水量(m ³)	15,147	15,023	14,947	14,945	15,124
普及率(%)	97.97	97.95	97.94	97.92	97.90

■下水道整備状況の推移

区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
整備面積(ha)	1,326.05	1,342.74	1,362.01	1,376.74	1,379.83
整備人口(人)	44,061	44,145	44,015	43,932	43,874
水洗化人口(人)	36,482	36,910	37,097	37,355	37,580
普及率(%)	90.9	91.6	92.1	92.7	93.3
水洗化率(%)	82.8	83.6	84.3	85.0	85.7

成果指標

No.	指標名及び説明	現状値	将来目標値
1	水道管耐震化率	17.5%	24.0%
2	下水道普及率	93.3%	98.0%
3	水洗化率	85.7%	90.0%

[成果指標の現状値・将来目標値について]

- 現状値は、平成27年度時点の全体の水道管に対する耐震性能がある水道管の割合。
北斗市水道事業老朽管更新・耐震化計画の整備予定より。
- 現状値は、平成28年度時点の総人口に対する下水道が使用できる施設整備済人口の割合。
（公共下水道、集落排水、合併浄化槽含む）
北斗市流域関連公共下水道事業計画の整備予定より。
- 現状値は、平成28年度時点の施設整備済人口に対する下水道を使用している人口の割合。
（公共下水道、集落排水、合併浄化槽含む）
現在の実績増加率（0.47%/年）を継続。

主要施策**1 安全な水道水の安定供給**

- ① 水道水質の安全性を確保するため水道システム全体に存在するリスクを抽出・特定し監視する「水安全計画」を作成し、さらなる安全な水の供給を推進します。
- ② 中長期の更新需要と経営計画を検討した上で、「老朽管更新・耐震化計画」を策定し、地震や災害に強い施設の更新を進めます。
- ③ 長期的展望に立った水需要の見直しを随時行い経営計画に反映して、健全経営の持続を図ると共に、マニュアルの充実や管理システムの充実、民間委託の活用による業務の効率化を検討します。

【関連主要施策】 P99 主要施策1 長寿命化対策の計画的な推進 ③

2 下水道の整備促進

- ① 市内全域での下水道使用が可能となるよう、下水道の整備を促進するとともに、水洗化率の向上を図るため、下水道未接続世帯への啓発活動を実施し、水洗化を促進します。
- ② 下水道施設の適切な管理の継続により公衆衛生を確保し、地震対策や長寿命化による安全・安心を確保します。
- ③ 持続可能な下水道事業経営を実現するため、下水道事業に企業会計を導入し、経営上の資産管理と、さらなる正確な経営の把握に努めます。

【関連主要施策】 P99 主要施策1 長寿命化対策の計画的な推進 ②